

平成 25 年 3 月 28 日  
消 費 者 庁  
独立行政法人国民生活センター

## 乳幼児の歯ブラシによる事故に注意！

むし歯予防のため、歯磨きは大切な生活習慣の一つです。歯磨き習慣が定着化したことにより、むし歯になる児童の数は年々減少しています<sup>※1</sup>。乳幼児期から歯ブラシに慣れるために、専用の歯ブラシを使用して歯磨きを始めさせる保護者も増え、様々なタイプの乳幼児用歯ブラシが販売されています。（写真1）

一方で、乳幼児が歯磨き中に歯ブラシをくわえたまま転倒し、口腔内に歯ブラシを突き刺す等の事故情報が医療機関ネットワーク<sup>※2</sup>に寄せられています。中には歯ブラシが頬に刺さり、手術・入院となった事例も報告されています。一方で、アンケート調査では、そういった事故を聞いたことがあるという保護者は3割しかいませんでした。乳幼児が一人で歯磨きをする際には、保護者の方がそばにつき添い注意を払うことが必要となります。

### 1. 医療機関ネットワークに寄せられた事故情報

医療機関ネットワークには、歯磨き中に歯ブラシをくわえたまま転倒するなどして外傷を負ったという報告が、平成22年12月から平成25年1月末までに50件寄せられました。

このうち、6歳以下の乳幼児の事故は49件です。（0歳児については0件）<sup>※3</sup>

年齢別では1歳児が最も多く、23件（46.9%）次いで2歳児12件（24.5%）の順で、3歳以下での受傷者が43件（87.8%）と多くなっています。また、受傷要因別では、歯磨き中に歩くなどして転倒したことに起因したものが31件（63.3%）で最も多くなっています。

図1. 年齢別事故件数（単位：件）

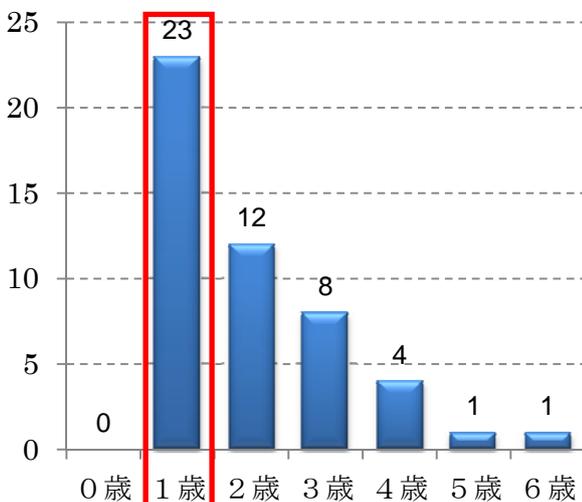


表1. 受傷要因別事故件数（単位：件）

年齢	歩いて転倒など	ぶつかる	人や物に	踏み台等から転落	その他	総計
0歳	0	0	0	0	0	0
1歳	15	3	3	2	2	23
2歳	10	2	0	0	0	12
3歳	4	1	2	1	1	8
4歳	1	1	1	1	1	4
5歳	1	0	0	0	0	1
6歳	0	1	0	0	0	1
総計	31	8	6	4	4	49

被害程度の内訳は、中等症<sup>※4</sup>10件、軽症<sup>※5</sup>40件でした。事故事例の主な内容は以下のとおりです。

※1 文部科学省 学校保健統計調査

([http://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/chousa05/hoken/kekka/1268813.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa05/hoken/kekka/1268813.htm))

※2 医療機関ネットワーク事業

消費者庁と国民生活センターとの共同事業で、消費生活上の事故情報を医療機関（平成25年3月時点で13機関）から収集し、被害の未然防止・拡大防止に役立てることを目的としている。収集される事故情報は、上記13医療機関を受診する要因となった事故のうち、各医療機関が選択して収集するものであり、全ての事故を対象としているものではない。

※3 子どもの事故については、（独）国立成育医療研究センターからの情報が約7割を占める

※4 中等症＝傷病の程度が生命に危険はないが、入院を要する状態

※5 軽症＝入院を要さない傷病

#### <事例1 歯磨き中に歩いて転倒>



室内で歩きながら歯磨きをしていたところ、畳の部屋で前方に転倒した。歯ブラシは畳の上に放り出されていた。見たところブラシ全体に血液が付着していた。水を飲むことができなかった。右咽頭に裂傷ができていた。

（事故発生年月：平成24年2月・2歳・男児・中等症）

#### <事例2 歯磨き中に物にぶつかる>

兄に追いかけて歯ブラシをくわえたまま走っていたところソファにぶつかって歯ブラシが喉に刺さった。嘔吐し、鼻と口から出血した。右咽頭、口蓋垂の横に1cm程度の裂創ができていた。

（事故発生年月：平成24年11月・1歳・男児・中等症）



#### <事例3 歯磨き中に椅子から転落>



洗面所で椅子（高さ50cm）の上に立って歯磨きしていたところ椅子から転落した。歯ブラシのヘッドの部分から3cmほどの所で2つに割れており、ヘッドの部分が口腔内に刺さっていた。歯ブラシを抜いたところ出血していたため、救急を要請した。左上の臼歯内側、軟口蓋近傍に裂傷があった。

（事故発生年月：平成23年6月・1歳・男児・軽症）

## 2. 乳幼児の歯ブラシによる事故と保護者の意識調査（概要）

歯ブラシによる事故や歯磨き時の行動等について保護者の意識を把握するため、事故件数が多い1歳児を中心に、0～3歳の一人で頻繁に歯磨きを行っている乳幼児を持つ保護者にアンケート調査を実施しました。（アンケートの詳細については別添を参照）

図2. 乳幼児（0歳～3歳）の歯ブラシによる事故経験（設問1、2、3、4）

4人に1人の乳幼児が歯ブラシによりケガをした又はケガをしそうになった経験があります。そのうち約4割が1歳児で、要因としては転んだ（転びそうになった）が最も多いという結果でした。

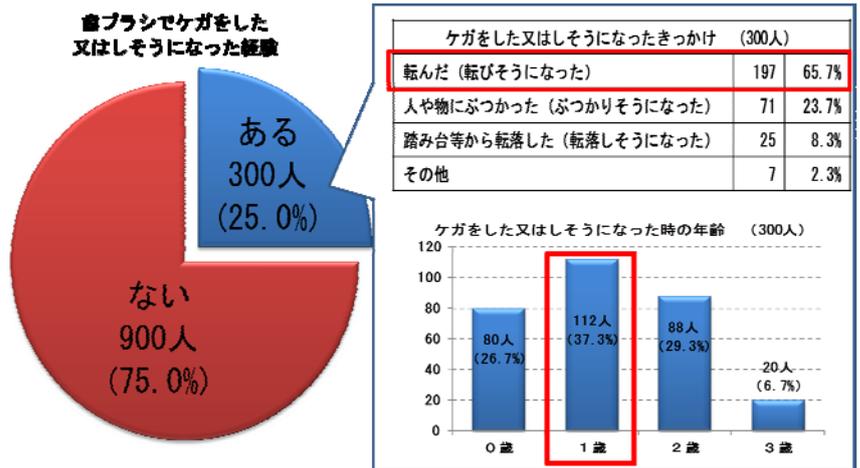


図3. 歯磨き中に歯ブラシをくわえたまま歩き回る乳幼児の割合（設問10）

6割の乳幼児が、歯ブラシを口にくわえたり、手に持ったまま歩き回っており、特に1歳児の割合が最も高くなっています。

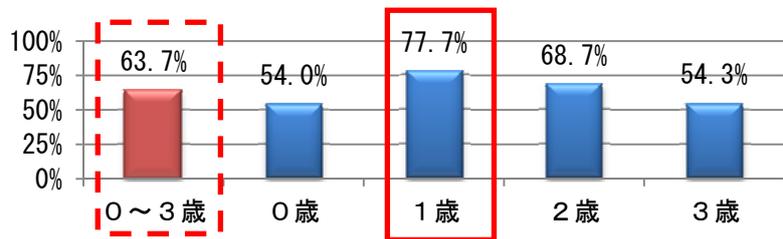
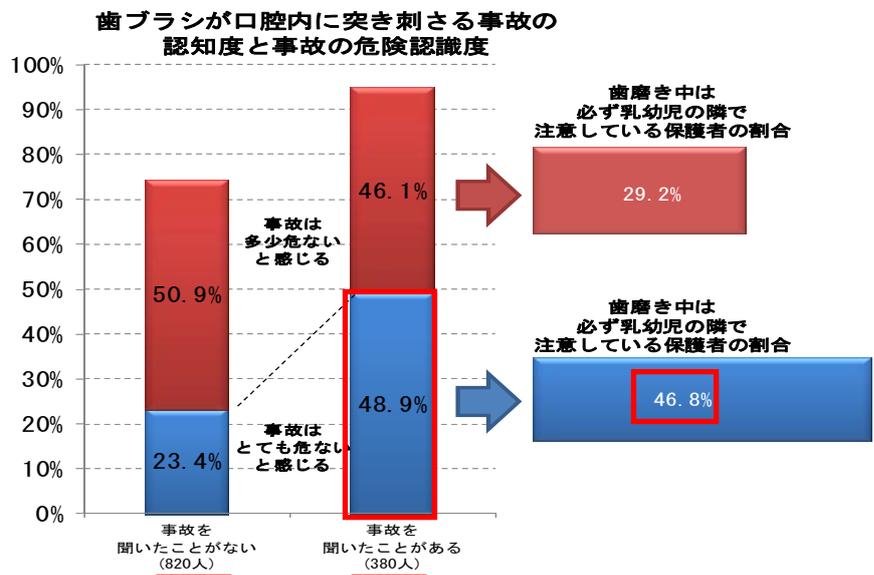


図4. 歯ブラシによる事故に対する保護者の認識（設問7、8、9）

口腔内に歯ブラシが突き刺さるといふ事故を聞いたことがある人は全体の約3割で、多くの人がこの様な事故が発生していることを知りません。また、事故を聞いたことがある人の半数は、歯ブラシによる事故がとても危ないと感じており、そのうち約半数は必ず乳幼児の隣で注意しているといった行動をとっています。



### 3. 今後の取組

自分で歯ブラシを持って歯磨きを始めることは、子どもの成長発育にとって大切なことです。1歳前頃から、親が歯ブラシを使うのを見せると子どもも真似をして歯ブラシを口に入れることを覚えていきます。歯磨きは楽しくて気持ちが良いという体験が正しい歯磨き習慣につながっていきます。

一方で、はしやフォーク、鉛筆など先の尖った物で、子どもの口等に物が刺さるという事故は発生しています。歯ブラシには特に尖った部分はなく、保護者は事故の危険性を認識しにくいものと思われます。しかし、専門家のコメントにあるように深く刺さった場合には生命が脅かされる危険性もあります。特に、事故が多発する年齢である乳幼児を持つ保護者は、はしや歯ブラシなどの細長いものを口にくわえたまま転倒して生じる事故の危険性について、十分に認識する必要があります。

消費者庁と国民生活センターでは、乳幼児の安全な歯磨き習慣について取り組んでいる日本小児歯科学会<sup>※6</sup>や、関連する機関とも連携をして安全な歯磨き習慣に対して継続的な取組を行っています。

※6 日本小児歯科学会 「楽しく安全に歯みがきをする習慣を身につけよう」リーフレット

(表) [http://www.jspd.or.jp/contents/common/pdf/download/hamigaki\\_a.pdf](http://www.jspd.or.jp/contents/common/pdf/download/hamigaki_a.pdf)

(裏) [http://www.jspd.or.jp/contents/common/pdf/download/hamigaki\\_b.pdf](http://www.jspd.or.jp/contents/common/pdf/download/hamigaki_b.pdf)

### 4. 消費者の皆様へ

今回のアンケート調査で、4人に1人の乳幼児が歯ブラシにより実際にケガをした又はしそうな経験があることが分かりました。また、歯ブラシによる事故の危険性を認識すると、日頃から乳幼児の歯磨きに対して注意を払う行動に結びついていることから、事故の危険性についての認識を持つことが必要となります。

このほか、1歳児は特に歯ブラシを口にくわえたり、手に持ったまま歩き回ることが多く、かつ医療機関からも、1歳児の事故が最も多く報告されていることから、事故にあう危険性が高い年齢であることが分かります。

むし歯予防のため、歯磨きは大切な生活習慣の一つですが、歯磨き中の歯ブラシによる事故は思いがけず大きなケガになることがあります。事故は一瞬の間に起こります。発育途上にある乳幼児は身体のバランスが悪く転倒しやすいため、**「歯磨き中は保護者の方がそばに付き添い注意を払う」**ことが大切です。

事故を起こさないために、以下のことに注意しましょう。

- ・歯ブラシを口に入れたり、手に持たせたまま歩き回らせないでください。
- ・人や物にぶつかってケガをすることもあるので、周囲の状況にも気を付けましょう。
- ・イスや踏み台などから転落してケガをすることもあるので、不安定な場所での歯磨きは避けてください。

写真1. 様々なタイプの乳幼児用歯ブラシ  
(写真は一部加工してあります)

「子どもを事故から守る！プロジェクト」シンボルキャラクター



本件に関する問合せ先

消費者庁

消費者安全課 河岡、望月

TEL : 03 (3507) 9200 (直通)

FAX : 03 (3507) 9290

HP : <http://www.caa.go.jp/>

独立行政法人国民生活センター

商品テスト部 影山、内田

TEL : 042 (758) 3165

FAX : 042 (758) 5626

HP : <http://www.kokusen.go.jp>

[参考] 医療機関ネットワーク事業 参画 13 医療機関

- 札幌社会保険総合病院
- 成田赤十字病院
- 独立行政法人 国立成育医療研究センター
- 済生会横浜市東部病院
- 市立砺波総合病院
- 長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院
- 社会保険中京病院
- 京都第二赤十字病院
- 兵庫県立淡路病院
- 鳥取県立中央病院
- 県立広島病院
- 佐賀大学医学部附属病院
- 独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター

(平成 25 年 3 月現在)

## 歯ブラシによる事故の危険性（専門家のコメント）

独立行政法人国立成育医療研究センター

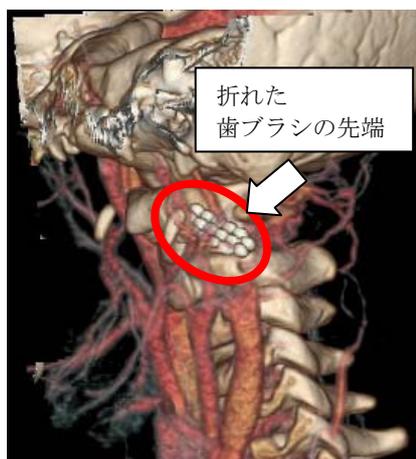
感覚器・形態外科部 耳鼻咽喉科 医長 守本倫子氏

### (1) 意外に怖い歯ブラシによる外傷

事例の多くは、歯ブラシを口にくわえたまま兄弟とふざけあっていたり、椅子につまずいたりして転倒することが原因である。歯ブラシは先端がとがっているわけではないが、細長いために力が加わると意外に深く刺さるものである。咽頭に刺入した方向により、上方向では脳を、垂直～下方向では咽頭の深部組織に達し、そこから縦隔まで炎症が波及することもある。また、左右方向では頸動脈、静脈、といった主要な血管を損傷し、大出血につながる可能性もある。

### (2) 生命が脅かされる危険も

#### 症例 1 1歳男児



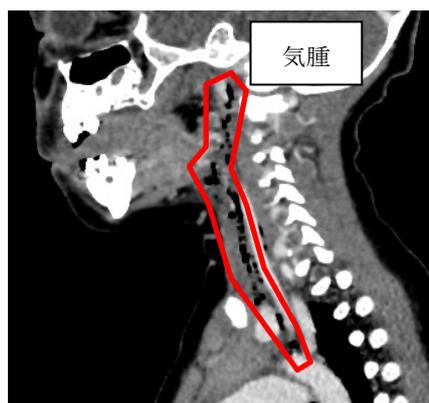
症例 1 は、歯ブラシの先端が折れて頸静脈のすぐそばに迷入してしまった 1 歳児の症例である。歯ブラシをくわえたまま転倒、咽頭に刺さった歯ブラシを母親が引っ張ったところ先端

が咽頭の深部に残ってしまった。歯ブラシは成人の力でもなかなか折れるものではなく、転んだ時に相当な力が加わり、ヒビが入ったために抜いた時に容易に折れたと

考えられた。また血管のそばに入り込み、一歩間違えば大出血であった。術後も咽頭後隙に膿瘍が形成され、長期入院と抗菌薬の静注治療が必要であった。

細長い刺入物の先端が折れて深部組織に迷入してしまうと分かりにくい。注意深い観察と必要に応じて CT による検査が必要である。

#### 症例 2 2歳男児



歯ブラシが咽頭に刺さったあと、診ているうちに咽頭後壁から喉頭にかけて腫脹が広がった 2 歳児の症例である。受傷直後も出血もなく、経口摂取も良好であったが、しばらくして元気がなくなってきたため、救急病院を受診した。口腔内は小さな損傷しか認められなかったが、CT を撮影したところ縦隔まで気腫が認められたため当院に救急搬送となった。これは、歯ブラシの刺入部より

空気が粘膜下に入り、皮下、咽頭後壁、縦隔内に気腫が広がったもので、直後から喉頭の浮腫も進行し、1週間気管内挿管が必要であった。対応が少し遅かったら窒息や、致命的な感染を起こしていた可能性も推測される。

一見、症状が軽度でほとんど損傷がない場合でも、細長い異物での咽頭外傷では深部を損傷して重篤になる可能性を認識しておく必要がある。

### (3) 幼児のはみがきは一人でさせないで



独立行政法人国立成育医療研究センターの統計では、過去10年間に37件の入院を要する口腔咽頭刺傷の症例があり、歯ブラシが原因であったものは22件(60%)であった。また、37件の症例のうち20件が1歳以下であった。乳幼児はまだ足腰がしっかりしていないことから、特に何も無い所でも転倒しやすいので、はしや歯ブラシなどの細長いものを口にくわえたまま転倒して生じる口腔外傷には注意が必要である。基本的には大人が常にそばにいること、何か口にくわえたまま他のことをさせないこと、さらに、万が一受傷した場合は児の状態をしばらく観察し、不安があれば直ちに病院を受診することなど、子どもを持つ親に周知させるべきであろう。

●東京消防庁のデータより (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/life/topics/201106/hamigaki.html>)  
 東京消防庁によると、平成 19 年から平成 23 年までの 5 年間に 5 歳以下の乳幼児が歯みがき中に歯ブラシで受傷した事故により、229 人が救急搬送されています。

歯みがき中の事故による救急搬送人員は、年間平均 46 件発生しています。(図 1)

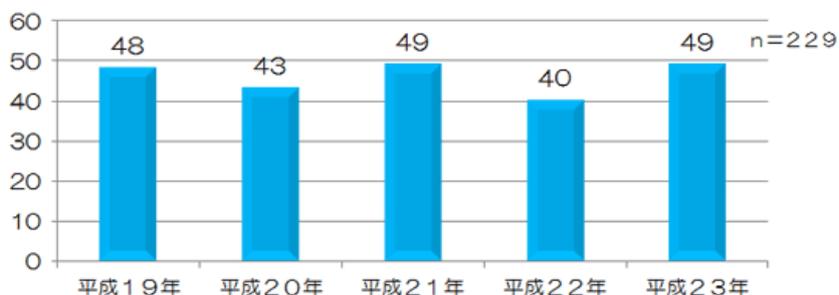


図 1. 歯みがき中の事故による年別救急搬送人員 (単位: 人)

年齢別では 1 歳児が最も多く 108 人 (47.2%)、次いで 2 歳児が 62 人 (27.1%) となっており、両者を合わせると、170 人 (74.2%) となり、事故の大半を占めています。(図 2)

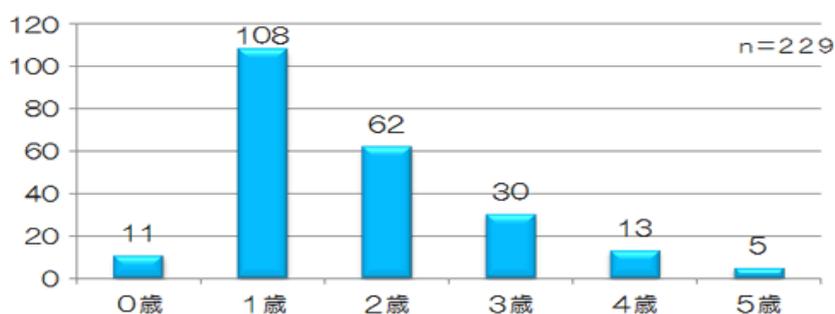


図 2. 年齢別救急搬送人員 (単位: 人)

受傷要因別では、「歯みがき中に歩くなどして転倒」が 148 人と全体の半数以上を占めています (表 1)。

表 1. 受傷要因別 (単位: 人)

	歯みがき中に歩くなどして転倒	歯みがき中に人や物にぶつかる	歯みがき中に踏み台等から転落	その他	不明	総計
0 歳	5	-	-	5	1	11
1 歳	74	10	6	13	5	108
2 歳	42	2	4	12	2	62
3 歳	19	5	1	4	1	30
4 歳	6	3	-	2	2	13
5 歳	2	3	-	-	-	5
総計	148	23	11	36	11	229

## 乳幼児の歯磨き中における歯ブラシに関する事故についてのアンケート調査

平成 25 年 3 月  
消費者庁  
独立行政法人国民生活センター

## 1. 調査内容

## (1) 調査目的

乳幼児の歯磨き事故の経験や、歯磨き時の行動、保護者の対応などについての実態を把握する

## (2) 調査対象および調査方法

0歳～3歳の乳幼児を持つ保護者を対象。インターネットによるアンケート調査を実施。各年齢 300 人ずつ計 1,200 人、全国 7 ブロック人口配分で収集。

## (3) 調査時期

平成 25 年 2 月

## (4) 調査対象条件、総サンプル数

アンケートを実施する前に、保護者に乳幼児の歯ブラシ使用状況を調査。

1～3歳は一人で頻繁に歯磨き(トレーニング含む)を行っているとした保護者、0歳は同様に頻繁に、又はたまに行っているとした保護者を調査対象とした。

## (5) 回答者属性

回答地域：全国 7 ブロック（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州）

平均年齢：34.9 歳

男女比：男性 45.4%、女性 54.6%

## 2. 調査結果

歯磨き中の歯ブラシによる事故についてお聞きします。

設問1. お子様が歯磨き中（ひとり磨き）の歯ブラシによってケガをした、又はケガをしそうになった経験はありますか。					
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	合計
1. はい	74 24.7%	84 28.0%	79 26.3%	63 21.0%	300 25.0%
2. いいえ	226 75.3%	216 72.0%	221 73.7%	237 79.0%	900 75.0%
合計	300 100.0%	300 100.0%	300 100.0%	300 100.0%	1,200 100.0%

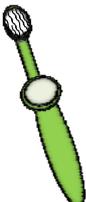
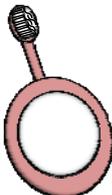
設問2. （設問1. で「1. はい」と答えた方）それはお子様が何歳の時ですか。（複数回経験がある場合は一番危険だと感じた経験についてお答えください）					
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	合計
1. 0歳児の時に経験	74 100.0%	6 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	80 26.7%
2. 1歳児の時に経験	-	78 92.9%	24 30.4%	10 15.9%	112 37.3%
3. 2歳児の時に経験	-	-	55 69.6%	33 52.4%	88 29.3%
4. 3歳児の時に経験	-	-	-	20 31.7%	20 6.7%
合計	74 100.0%	84 100.0%	79 100.0%	63 100.0%	300 100.0%

設問3. （設問1. で「1. はい」と答えた方）その時、お子様はどのような状態でケガをした、又はしそうになりましたか。					
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	合計
1. ころんだ （ころびそうになった）	42 56.8%	59 70.2%	55 69.6%	41 65.1%	197 65.7%
2. 人や物にぶつかった （ぶつかりそうになった）	23 31.1%	18 21.4%	18 22.8%	12 19.0%	71 23.7%
3. 踏み台等から転落した （転落しそうになった）	7 9.5%	3 3.6%	6 7.6%	9 14.3%	25 8.3%
4. その他（具体的に）	2 2.7%	4 4.8%	0 0.0%	1 1.6%	7 2.3%
合計	74 100.0%	84 100.0%	79 100.0%	63 100.0%	300 100.0%

設問4. (設問1. で「1. はい」と答えた方)その時、お子様はケガをされましたか。					
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	合計
1. はい	18	8	17	8	51
	24.3%	9.5%	21.5%	12.7%	17%
2. いいえ	56	76	62	55	249
	75.7%	90.5%	78.5%	87.3%	83%
合計	74	84	79	63	300
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

設問5. (設問4. で「1. はい」と答えた方)その時、お子様はどの様ケガをされましたか。(一番重いケガを選んでください)					
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	合計
1. 歯ブラシが当たったが、出血等は無かった	8	4	5	1	18
	44.4%	50.0%	29.4%	12.5%	35.3%
2. 歯ブラシで当たり、切傷になった	7	3	10	7	27
	38.9%	37.5%	58.8%	87.5%	52.9%
3. 歯ブラシが刺さった	3	1	2	0	6
	16.7%	12.5%	11.8%	0.0%	11.8%
4. その他(具体的に)	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	18	8	17	8	51
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

設問6. (設問4. で「1. はい」と答えた方)ケガをした時に使用していた歯ブラシの種類を教えてください。

		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	合計
1. 通常タイプ		8	6	12	8	34
		44.4%	75.0%	70.6%	100%	66.7%
2. コブ付タイプ		3	2	5	0	10
		16.7%	25.0%	29.4%	0.0%	19.6%
3. 安全具付タイプ		4	0	0	0	4
		22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	7.8%
4. 持ち手リングタイプ		2	0	0	0	2
		11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.9%
5. 電動歯ブラシ		1	0	0	0	1
		5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%
6. その他		0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計		18	8	17	8	51
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

日常の歯磨き習慣についてお聞きします。

設問7. 歯磨き中の歯ブラシによる事故について、危険性を感じていますか。					
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	合計
1. とても危ないと感じている	92 30.7%	105 35.0%	111 37.0%	70 23.3%	378 31.5%
2. 多少は危ないと感じている	144 48.0%	151 50.3%	135 45.0%	162 54.0%	592 49.3%
3.それほど危ないとは感じていない	46 15.3%	31 10.3%	42 14.0%	55 18.3%	174 14.5%
4. 危ないとは感じていない	18 6.0%	13 4.3%	12 4.0%	13 4.3%	56 4.7%
合計	300 100.0%	300 100.0%	300 100.0%	300 100.0%	1,200 100.0%

設問8. (設問7. で「1. とても危ないと感じている」または「2. 多少は危ないと感じている」と答えた方)事故を防ぐためにお子様に対してどの様な対策をしていますか。					
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	合計
1. 歯磨き中は必ずお子様の隣で注意している	105 44.5%	89 34.8%	90 36.6%	66 28.4%	350 36.1%
2. 歯磨き中はできる限りお子様の隣で注意している	86 36.4%	110 43.0%	88 35.8%	99 42.7%	383 39.5%
3. お子様で危ない行動をしていることに気付いた時は注意している	38 16.1%	50 19.5%	66 26.8%	64 27.6%	218 22.5%
4. 特に注意はしていない	3 1.3%	2 0.8%	2 0.8%	1 0.4%	8 0.8%
5. その他(具体的に)	4 1.7%	5 2.0%	0 0.0%	2 0.9%	11 1.1%
合計	236 100.0%	256 100.0%	246 100.0%	232 100.0%	970 100.0%

設問9. 乳幼児が一人磨きをしているときに転倒するなどして口腔内に歯ブラシが突き刺さる事故が寄せられています。 このような事故について、聞いたことがありますか。聞いたことがある場合は何(どこ)で聞きましたか。具体的にご記入ください。					
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	合計
1. 聞いたことがある(具体的に)	78 26.0%	104 34.7%	107 35.7%	91 30.3%	380 31.7%
2. 聞いたことがない	222 74.0%	196 65.3%	193 64.3%	209 69.7%	820 68.3%
合計	300 100.0%	300 100.0%	300 100.0%	300 100.0%	1,200 100.0%

設問 10. お子様は歯ブラシを口にくわえたり、手に持ったまま歩きまわることがありますか。					
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	合計
1. いつも歩きまわる	56 18.7%	126 42.0%	83 27.7%	53 17.7%	318 26.5%
2. ときどき歩き回る	106 35.3%	107 35.7%	123 41.0%	110 36.7%	446 37.2%
3. たまに歩き回ることがある	59 19.7%	46 15.3%	73 24.3%	84 28.0%	262 21.8%
4. 歩き回ることはない	79 26.3%	21 7.0%	21 7.0%	53 17.7%	174 14.5%
合計	300 100.0%	300 100.0%	300 100.0%	300 100.0%	1,200 100.0%

設問 11. 歯ブラシパッケージ裏面の「歯ブラシをくわえたまま遊ばない」といった使用上の注意をご覧になったことがありますか。					
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	合計
1. はい	119 39.7%	124 41.3%	112 37.3%	102 34.0%	457 38.1%
2. いいえ	181 60.3%	176 58.7%	188 62.7%	198 66.0%	743 61.9%
合計	300 100.0%	300 100.0%	300 100.0%	300 100.0%	1,200 100.0%

設問 12. お子様の歯ブラシを購入する時に最も重視する点は何ですか。					
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	合計
1. ヘッドの大きさ	76 25.3%	78 26.0%	90 30.0%	124 41.3%	368 30.7%
2. 握りやすさ	51 17.0%	47 15.7%	26 8.7%	30 10.0%	154 12.8%
3. 価格	60 20.0%	53 17.7%	73 24.3%	55 18.3%	241 20.1%
4. デザイン（キャラクター）	58 19.3%	54 18.0%	73 24.3%	72 24.0%	257 21.4%
5. 安全性	48 16.0%	59 19.7%	25 8.3%	14 4.7%	146 12.2%
6. その他（具体的に）	7 2.3%	9 3.0%	13 4.3%	5 1.7%	34 2.8%
合計	300 100.0%	300 100.0%	300 100.0%	300 100.0%	1,200 100.0%

設問 13. お子様は歯磨き（ひとり磨き）をどの様な姿勢で行っていますか。（複数回答可）					
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	合計
1. 床に立って	110	161	132	135	538
	28.9%	41.8%	33.7%	35.9%	35.1%
2. 台の上に立って	42	26	33	61	162
	11.1%	6.8%	8.4%	16.2%	10.6%
3. 床に座って	133	126	121	106	486
	35.0%	32.7%	30.9%	28.2%	31.7%
4. 台や椅子に座って	54	44	79	59	236
	14.2%	11.4%	20.2%	15.7%	15.4%
5. ベッド等に寝転んで	36	18	20	10	84
	9.5%	4.7%	5.1%	2.7%	5.5%
6. その他(具体的に)	5	10	7	5	27
	1.3%	2.6%	1.8%	1.3%	1.8%
合計	380	385	392	376	1,533
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%